

令和2年11月吉日

各都道府県・市町村教育委員会 様
各国立・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関 係 各 様 位

第59回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会愛媛大会
大会準備会 会長 森田 功一
(愛媛県教育研究協議会 技術・家庭委員会 委員長)

第59回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会

愛媛大会の御案内 (一次案内)

新学習指導要領全面実施の年、令和3年度に中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会愛媛大会を松山市と東温市を会場に開催いたします。現在、研究主題を「よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力の育成 ～「見方・考え方」を働かせた学習活動を通して～」と設定し、本教科の一層の充実と発展を目指して、研究を進めております。

つきましては、貴職を始め、先生方、及び、関係各方面からご指導、ご助言を賜り準備を進め大会の開催に向けて準備を進めたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

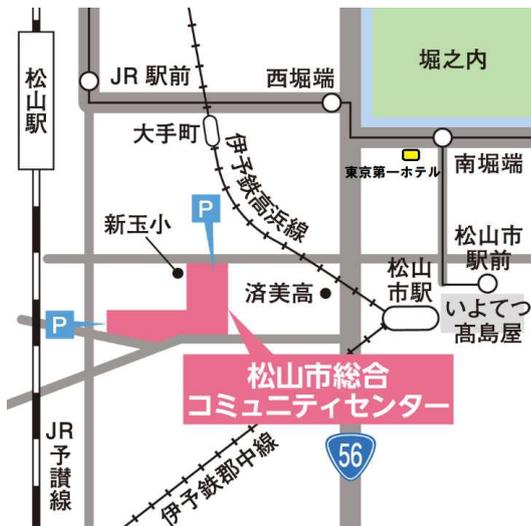
大会開催要項

- 1 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会
中国・四国地区中学校技術・家庭科研究会
愛媛県中学校技術・家庭科研究会
愛媛県教育研究協議会技術・家庭委員会
- 2 共催 愛媛県教育研究協議会
愛媛県教育会(予定)
- 3 後援 中国・四国地区各県教育委員会 愛媛県教育委員会(予定)
愛媛県市町教育委員会連合会(予定)
松山市教育委員会 東温市教育委員会(予定)
愛媛県小中学校校長会(予定)
社団法人全国中学校産業教育教材振興協会(予定)
- 4 期 日 令和3年10月27日(水)・28日(木)・29日(金)

27日(水) 中国・四国地区理事研修会
28日(木) 全体会・提案分科会(8分科会)
29日(金) 公開授業・授業分科会(8分科会)

- 5 会 場 (1) 中国・四国地区理事研修会
にぎたつ会館
(2) 全体会及び提案分科会(8分科会)
松山市総合コミュニティセンター
(3) 公開授業及び授業分科会

第1会場	技術分野A 材料と加工に関する技術	家庭分野C	東温市立重信中学校 〒791-0204 東温市志津川991番地 TEL(089)964-2007
第2会場	技術分野B 生物育成に関する技術	家庭分野B1	松山市立余土中学校 〒790-0043 松山市保免西4丁目5番23号 TEL(089)972-0010
第3会場	技術分野C エネルギー変換に関する技術	家庭分野A	松山市立勝山中学校 〒790-0823 松山市清水町3丁目148-2 TEL(089)925-4005
第4会場	技術分野D 情報に関する技術	家庭分野B2	松山市立道後中学校 〒790-0853 松山市上市1丁目3番57号 TEL(089)921-4207



【中国・四国地区理事研修会 会場】
 にぎたつ会館
 〒790-0858 松山市道後姫塚118-2
 Tel(089)941-3939

【全体会及び提案分科会会場】
 松山市総合コミュニティセンター
 〒790-0012 松山市湊町七丁目5番地
 Tel(089)943-8188

【公開授業及び授業分科会会場】

- 東温市立重信中学校
 技術分野A分科会
 家庭分野C分科会
- 松山市立余土中学校
 技術分野B分科会
 家庭分野B1分科会
- 松山市立勝山中学校
 技術分野C分科会
 家庭分野A分科会
- 松山市立道後中学校
 技術分野D分科会
 家庭分野B2分科会



6 研究主題

よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力の育成
 ～「見方・考え方」を働かせた学習活動を通して～

7 主題設定の理由

グローバル化や技術革新が急速に進展する、予測困難な未来社会を生き抜く力の育成が学校教育に求められている。加えて、AIやIoTなどの新しいイノベーションの登場は、超スマート社会（Society5.0）時代の全く新しい価値を創出し、「革命的」に生産性を押し上げる大きな可能性を秘めるものであり、政府においては「生産性革命」を世界に先駆けて実現することを目指した取組が進められている。こうした現状を踏まえ、生徒自らこれからの社会を生き抜くために、よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力を育成することが重要である。本県では、前大会以降、『豊かな生活を目指し、主体的に行動する生徒の育成』を研究主題とし、協働的な学びを取り入れた問題解決的な学習の在り方について工夫・改善を行ってきた。これからの教育政策として、新学習指導要領に示されている、「何のために学ぶのか」という学習の意義、「何ができるようになるか」につながる「三つの資質・能力」を獲得し、これからの社会を生き抜くために必要な、よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力を育成するための技術・家庭科教育の在り方について検討していこうと考えた。技術・家庭科が目指す資質・能力は、技術・家庭科の見方・考え方を働かせることが一層重要になると考える。今回の改訂において、技術・家庭科では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目標としている。技術分野では、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することが示されている。また、家庭分野では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することが強く求められている。そこで本県では、生徒の実態や社会の現状を踏まえ、これまで行ってきた問題解決的な学習の在り方については引き続き実践しつつ、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせた学習活動を通して、よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力を育成したいと考え、研究主題を「よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力の育成」とし、サブタイトルを「『見方・考え方』を働かせた学習活動を通して」とした。

8 講師並びに指導助言者（予定）

(1) 全体会

文部科学省 初等中等教育局 視学官
 教育課程課 教科調査官
 情報教育・外国語教育課 教科調査官
 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
 上野 耕史 様

文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官
 丸山 早苗 様

(2) 提案分科会及び授業分科会

中国・四国地区各県教育委員会指導主事様
 中国・四国地区教育関係機関関係者様

9 日 程

○ 10月27日（水） にぎたつ会館

14:30 15:00 17:00

受	中国・四国地区
付	理事研修会

○ 10月28日（木） 松山市総合コミュニティセンター

9:00 9:30 10:00 10:30 11:50 12:00 13:00 15:30 15:40

受	開	全体発表	指導講評	閉	昼	提案分科会	閉
付	会		・	会	食	提案・研究協議	会
	式		講 演	式		指導講評	

○ 10月29日（金） 松山市内及び東温市内の4中学校

9:00 9:40 10:30 12:00

受	公開授業	授業分科会
付		研究協議
		指導講評

10 大会諸経費

- (1) 大会参加費（資料代を含む） 4,000円
 (2) 28日（木）の昼食（希望者） 1,000円

11 大会事務局

〒791-1102 松山市来住町689番地
 松山市立久米中学校内 北川 雅士
 TEL (089) 975-0501 FAX (089) 970-3910